



令和6年11月29日

浦和明の星幼稚園

園長 栗田 亨

今年の秋も、あっという間に過ぎ去ってしまったようで、少し寂しいです。そんな中で驚いたことがあります。前にも紹介した色々なものに興味を示す年少の女の子と、いつも園バスでその子の隣に座っている年中の女の子との出来事です。バスから降りる年少の子の後を追うように、年中の子が寄り添い、手を繋いで玄関に入る姿は何回か目にしました。年下の子の面倒を見て偉いなあと感じていました。ある朝、年少の子が私の前を素通りするのを見た年中の子が年少の子に「〇〇ちゃん、園長先生にご挨拶した？」と尋ねたようです。すると、年少の子は踵を返して私に近付き、ハッキリ「お早うございます」と、目を見て挨拶をするではありませんか。それは正に、子ども同士の「伸びよう、伸ばそう」とする強い力があることを教えてくれた出来事でした。

話は変わりますが、今市内全ての就学前施設とその地域の小学校が「架け橋期のカリキュラム」を作成することが求められています。これは、幼稚園等から小学校へと校種が変わっても、子どもが持つ力を十分に発揮できるように、笑顔で過ごせるようにするものです。本園は、該当校である大牧小と、年長から小1の2年間のカリキュラム（活動や学習の内容や方法の計画）を協働して作るというものです。幼稚園と小学校では、学びの内容や方法が大きく異なります。本園ではこれまでも、「新しい1年生を迎える会」や「星の子の集い」、「町たんけん」などで子ども同士の交流を行ってきました。また、幼稚園の先生を小学校に派遣したり、小中学校の先生を受け入れたり、或いは昨年度、教員全員で尾間木小へ出かけ、卒園生の様子を伺ったり教員同士の交流を行ってきました。しかし、協働して計画をつくるためには、小学校の先生方にも幼稚園を知ってもらうことが大切だと考え、今年の夏休みには、大牧小1年の先生を中心に本園の様子を見ていただき、卒園生の活躍ぶりを紹介していただくなどをしました。そこで、2年間を通してどんな交流ができるか話し合い、年長組が何回か大牧小を訪問することにしました。1回目は、10月23日（水）大牧小にお散歩に行き、業間休みと2年生の運動会練習の様子を見てきました。子どもたちは広い校庭にびっくりし、きびきび動く2年生の姿に圧倒されたようですが、とっっても親近感が湧いたとのことでした。「また行きたい」「今度は校庭で遊びたい、教室を見たい」という意見が出たようで、12月11日（水）に2回目の訪問が決まりました。そして、来年の1月22日（水）には、生活科の「新しい1年生を迎える会」の招待を受けました。自分が進学する学校ではなくても、小学校の様子を知っておくことで、子ども同士の「伸びよう、伸ばそう」という力が発揮しやすくなると思います。

その年長さんが中心となって聖劇を披露するクリスマス会も間近です。昨日、一昨日とリハーサルを行いました。今年ほどの学年も仕上がりが早いようです。それぞれの学年が、子どもの思いを大切に、「やってみたい」に挑戦したようです。詳しくは、クリスマス会のしおりに在りますので、是非ご一読願います。特に、年長さんは、これまでクリスマス会終了後、誰もが自分の好きな役に挑戦できる「聖劇ごっこ」をして遊んでいましたが、今年は、運動会が終わると直ぐに、この遊びを取り入れたそうです。役決めの前にもいろいろな役を経験することで、内容理解が深まり、役選択の幅も広がったとのこと。練習も互いに見合い、毎回振り返りを行いよりよいものを求めたとのこと。これも正に、子ども同士の「伸びよう、伸ばそう」という力を信じての取組と言えそうです。

今年のクリスマス会は、在園の皆さんばかりでなく、おひさま教室や星の子くらぶ、パピーくらぶさらに、広く一般の皆さんもお招きして、盛大にイエス様ご誕生をお祝いしようと考えています。そこは、子ども同士の「伸びよう、伸ばそう」という力が結集する場でもあります。そして、その力を爆発的に後押しするのは、そうです。ご参会の皆さんの声援です。本園の子ども達が、在園中はもちろん小学校に行ってもやがて大人になっても、「伸びよう、伸ばそう」という力を発揮できるように是非大勢の皆さんに足を運んでいただき、大きな声援を送っていただければ幸いです。